

## たんの小史

# ふるさと端野

①

わたしたちが住んでいる端野の「まち」としての歴史は、屯田兵が入地した明治三〇年六月七日に始まります。しかし、この地に人間が住んだ歴史や、この地の成り立ちをたどれば、何万年や何億年というような昔にさかのぼります。

平成三〇年には新北見市史が発刊される予定になっており、現在、端野自治区からも二名の編集委員が選出され編集作業にあたっています。

発刊される前に「ふるさと端野」を田中誠氏に執筆していただき、端野の歴史を振り返りながら毎月お知らせしていきます。

## 遺跡から見える古代の端野

(その1)

「丘陵にかこまれ、川の流れが平地をうるおす端野は、狩や猟の場所として古代の人びとにとっては好適な生活の場であったようである。弓矢を手に獲物を求

め山野を駆けまわり、西の山に太陽が沈むころには、あちこちの丘陵につくられた住居から夕げの仕度のために煙がたなびく・・・」と、「端野のむかし」(注※1)に記されており、端野町の各地には古代の人たちの生活の跡が数多く残されています。

この貴重な遺跡や遺物を保護し、後世に伝えるとともに、これまで知られていない先史を明らかにするため、端野町では、昭和四〇(一九六五)年から計画的に遺跡調査をすることとし、当時、東京大学考古学教室の加藤晋平、藤本強先生に依頼し実施しました。この年、町内で一三八ヶ所の遺跡を確認しました。

その後、継続し遺跡の確認と発掘調査を行い、今まで知ることのできなかつた古代の端野が見えてきました。

そこで、この遺跡から見える端野の昔をたどってみます。

## 先史時代

日本列島に人類が登場してから土器が制作されるまでの間を「先土器時代」と呼び、およそ一万三千年前までのことです。

端野町では、昭和四二(一九六八)年、加藤先生により、二区の上口遺跡(東一

七号線裏山の山際の畑)(※2)で発掘調査が行われ、先土器時代の遺物と小型住居址が発見されました。また、翌四四年には、川向の吉田遺跡(旧川向小学校グラウンドの北西側の畑)の発掘調査でも先土器時代の石器群、さらにこの遺跡に隣接している間村遺跡でも同時代の石器群が発見され、端野には一万年以上前から人が住んでいたことが証明されました。当時の人々の暮らしは、狩猟と漁労が中心であったといわれています。(つづく)

上口遺跡居住址



(裏面に続きます)

注※1

◇「端野のむかし」

昭和四〇（一九六五）年に東京大学考古学教室の加藤晋平氏・藤本強氏に執筆を依頼し、端野町が発刊しました。その他に「一万年前のたんの」昭和（一九六九）年・「縄文時代のたんの」昭和四七（一九七二）年も発刊されています。

※2

◇上口遺跡から発掘された遺物

彫器（ピュアリン）  
ちようき

動物の骨や角などを加工したり、みぞを彫ったりする道具。平ノミ、角ノミ、丸ノミなどのように、いろいろな彫器があります。

搔器（エンドスクレーパー）  
そうき

動物の皮に残された肉片や脂肪をけずり落とし、皮をなめすための道具と考えられています。

石槍

打製石器の一種で、主に落とし穴に落ちた動物を刺し、とどめとしたものと思われま



端野自治区（旧端野町）で発刊された端野小史等をお知らせします。

◇端野の夜明け（端野小史第一集）

理想郷を築くために血と汗と涙で綴った端野小史です。屯田兵や開拓先駆者が未開の荒野に挑んだ苦難苦闘の足跡をたどっています。

発行日 昭和六二年二月二五日

編集 端野小史編集委員会

販売価格 一一〇〇円（税込）

◇端野小史 端野の夜明け（第二集）

（第二集）

開基九〇年に企図した端野小史は端野町二世紀へつなぐ語りべの願いがあり、第一集に続いて初期時代の生活文化、民衆史として発刊しました。

発行日 平成元年三月三一日

編集 端野小史編集委員会

販売価格 一一〇〇円（税込）

◇端野小史 端野の夜明け（第三集）

（第三集）

大正一〇年四月一日野付牛町から分村して七〇年の節目を迎えた年に発刊しました。薄荷、教育、行政管轄と分村に焦点をあて、この時代に活躍した先達が智

恵と情熱を燃やし、ふるさと端野を築いてきた価値ある史実を探っています。

発行日 平成二年八月一日

編集 端野小史編集委員会

販売価格 一一〇〇円（税込）

◇端野小史 端野の夜明け（第四集）

（第四集）

「端野の夜明け」最終刊として激動の昭和期に生きた人々に焦点をあて、第四集を刊行しました。戦時下のもと、言葉で言い尽くせない苦難の道の中にあつて、先達の方々がふるさとを愛し、ひたむきに生きてきた姿が描かれています。

発行日 平成五年三月三一日

編集 端野小史編集委員会

販売価格 一一〇〇円（税込）

◇新端野町史

平成八年、開拓の鍬が入れられ一〇〇年の記念すべき年を迎え、記念事業の一環として、端野町の創成と発展に不滅の足跡を遺された先達の方々の軌跡を後世に伝えるとともに、二世紀のまちづくりの糧とすべく発刊しました。

発行日 平成一〇年一〇月一〇日

編集 端野町史編集委員会

販売価格 五〇〇〇円（税込）